

IV 線形からゴムのFEM解析、材料定義の基本から立ち上げ、実用化、効率化の方法

基本的なV&Vを確実に実施、ソフトの癖を掴みながら実用化する、そして解析を楽にする方法、知恵

1. FEM解析の基礎 材料定義、拘束、モデル化の基本と結果の見方

※ 30分程度、ゴムの解析の基本から振動、熱、耐久性について根本的な注意点を説明

2. 実践線形FEM解析でのやってはいけない定義/危うい定義

線形解析の危うい解釈や線形FEM解析で防振ゴム等の設計が可能になる手順

3. ゴムの解析の実践

- ・ 材料定義の基本、測定から材料定義
- ・ 実際の解析例とそのポイントと注意すべき点/測定での注意すべき点含めて
- ・ 解析誤差の考え方-ゴムの硬度、寸法、へたりなど考察、解決方法
- ・ 動解析での注意すべき点

4. 立ち上げ時に注意すべき点

- ・ ソフトの能力からの注意点
- ・ V&Vの必要性 (ソフトの癖を掴む)
- ・ 自動化、効率化を甘く見ない/自動化は工数削減だけではない

随時 & 最後に質疑

5. CAD/FEMの自動化システムの作り方と活用方法

- ・ CAD、ブーツ、簡単な作図を例にした自動化方法
- ・ FEM解析の自動化手法
- ・ リバースエンジニアリング
- ・ 設計者解析への展開方法
- ・ その他、便利ツール